

第6期（2018年度）事業報告

1. 「第18回 日韓中テレビ制作者フォーラム」光州大会

作品テーマ「より良い共同体づくりに向けた市民運動」。日韓中の制作者やメディア研究者が活発な意見交換を行った。光州事件の保存と展示に向き合う光州市関係者の真摯な態度に感銘を受けた。

尚、昨年当会の総会で、「2019年中国大会を以て放送人の会の参加は終了する」ことが承認されている。光州大会ではフォーラムの今後のあり方について意見交換があったが具体的な方向は見出されていない。5月中国で行われる第19回大会の準備会議で更に詰めた議論をする予定。

2. 放送人グランプリ

第17回放送人グランプリ各賞 および 第4回大山勝美賞の贈賞

3. 名作の舞台裏（放送番組センターと共催）

NHK大河ドラマ「花の乱」、テレビ朝日「科捜研の女」

4. 人気番組メモリー（同）

「きょうの料理」（NHK）

5. 放送人の世界（上智大学メディアジャーナリズム研究所と共催）

「右田千代～人と作品」。現役は初めて、且つ女性ディレクターとしても初めて。

6. 放送人の証言

北山章之助 重村一 小林由紀子

・放送100年記念＜放送人の証言出版プロジェクト＞がスタート。

7. ドキュメンタリーワールド・・・今期は実施せず。

8. 放送人句会

会員交流の場として継続開催。作品は会報に掲載。季語の他、「業界用語」を題にするのが特色

9. ラジオプロジェクト

「ラジオ聞き（利き）酒の会」を活発に行うほか、交流会を開催

10. 広報

・会報 3回発行

（①総会／放送人グランプリ特集、②日韓中テレビ制作者フォーラム光州大会特集、③新年号＋放送人グランプリ下馬評座談会）

・ホームページ タイムリーに更新し、活性化を図っている

・フェイスブック イベント企画の告知を中心に適宜アップする。

11. 総務

会の活動全般を把握し、運営の円滑化に努めている。

インターネット、メール環境を一新し業務の円滑化、セキュリティーの確保、情報発信の強化を図った。

○会の活動は多岐に亘っている。今後も各活動に多くの会員の積極的な参加を期待する。

○会報および理事会議事録に活動状況を詳しく掲載している。是非お読みいただきたい。